

令和5年度 標準学力調査の結果と分析について

正答率

【国語】

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
本校	81.0	83.8	66.2	65.7	68.9	70.9
全国	74.8	79.3	68.4	64.2	69.9	66.6
廿日市市	77.1	82.3	68.9	69.1	73.3	67.7

【算数】

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
本校	83.9	76.2	72.2	63.0	57.2	78.5
全国	78.2	73.1	69.9	64.8	58.3	73.8
廿日市市	82.7	78.6	74.2	66.2	60.6	73.3

学年別の主な解答の傾向

1年	国語	◎自分の伝えたいことを条件にそって文章にする問題はできている。 ●読んで解釈する問題の正答率が低く、文章を正しく読むことに課題がある。
	算数	◎基礎的な計算問題の正答率が高い。 ●計算過程の説明や、問題づくりといった思考力を問う問題の正答率が低い。
2年	国語	◎漢字や言葉の学習などの問題の正答率が高い。 ●文章を読み取り、説明を書く問題の正答率が低い。
	算数	◎基礎的な計算問題の正答率が高い。 ●長さ・かさの問題の正答率が低く、単位の関係や量感の理解に課題がある。
3年	国語	◎「情報の扱いに関する事項」の正答率は、昨年度よりも上がっている。 ●説明文を読み取ることや、自分で考えて文章を書くことに課題がある。
	算数	◎「数と計算」の基礎項目の正答率は上がっている。 ●図形を読み取ることや、時刻と時間の計算に課題がある。
4年	国語	◎漢字の読みや条件に合わせて文章を書く問題の正答率が高い。 ●説明文で中心となる語や文を見つけて要約することに課題がある。
	算数	◎億や兆・がい数の表し方の問題の正答率が高い。 ●折れ線グラフと棒グラフからの情報を読み取ることや、課題がある。
5年	国語	◎条件に合わせて文章を書く問題の正答率が高い。 ●漢字や敬語、語句を適切に使うことに課題がある。
	算数	◎比例や合同、公式を使う問題など単純な計算の正答率が高い。 ●単位量当たりの大きさや、考えを説明する問題に課題がある。
6年	国語	◎漢字・言葉などの言語分野の正答率が高い。 ●条件を満たす記述、文章全体を捉える問いの正答率が低い。
	算数	◎全体的にどの分野も正答率が高い。 ●意味を問われる問題、説明をする・理由を答える問題の正答率が低い。